太田実澪

七海先輩

私の中で七海先輩といえば、憧れの先輩というイメージだ。落ち着いていて、しかしそれだけでなく楽しむときには周りの人と楽しんでいるように見える。生徒会選挙の時には、見事な演説と公約で、副会長となった。あのときのことは今でも鮮明に思い出せる。しっかりしていて、落ち着いていて、”楽しみ”を味わうことができる人。私にとっての憧れではあるが、なかなか接点がなく詳しく七海先輩を知らない。もっと踏み込んでみたい。そう思い、七海先輩の人物像について、アバウトではあるが聞いてみたいと思った。

優杏先輩

優杏先輩との接点は、紫蝶祭のときのダンス「EXILE」、福祉ボランティア委員会…と、数えられるほどしかない。しかしそんな中で私が優杏先輩に興味を持ったのは、その数少ない接点で感じた不思議なオーラと、友達との話に出てくる先輩の姿が印象深かったからだ。のほほんとした雰囲気と、のんびりとした口調。話に出てきたのはジャニーズに一心に思いを注ぐ一途な一面。よくは知らないかもしれない。でも欠片くらいなら持っている。私はその欠片をパズルのように組み合わせ、先輩に関してもっと知りたい。そしてそれを文章にしたい。そんな思いでインタビューをしてみようと思った。